

# 少年野球の指導者のスポーツキャリアが指導目的に与える影響

西條 佑哉（競技スポーツ学科 コーチングコース）

指導教員 北村 哲

キーワード：少年野球，スポーツキャリア，指導目的

## 1. 緒言

マートン（2013）によると，指導目的は，「身体的要素」「精神的要素」「社会的要素」の3つの要素の成長を促すことと述べている。スポーツ指導において競技経歴がこの3つの要素「身体的要素」「精神的要素」「社会的要素」の重要度に影響しているために指導者の指導目的に差異が生じることが考えられる。そのため「身体的要素」における『基礎技能』を重要視する指導者もいれば，「精神的要素」における『感情のコントロール』や「社会的要素」における『規則・ルール』を重要だと考える指導者もいることが考えられる。

そこで本研究では，指導者のこれまでの競技経歴が指導目的形成の1つの要因であると考え，少年野球の指導者を対象に，競技経歴が指導目的の形成にどのように影響しているかを明らかにすることを目的とした。

## 2. 研究方法

### 1) アンケート用紙

#### ① 指導目的について5項目

マートン（2013）の指導目的を参考にし，重要度を5段階で記入してもらった他，重要と考える理由について記述させた。

#### ② 指導者の競技経歴について9項目

開始学年（小学校，中学校，高校）終了学年（小学校，中学校，高校，大学）から選択させ，競技環境については記述させた。

### 2) アンケート調査対象

小学生の少年野球チームで指導経歴のある指導者28名

### 3) 分析方法

重要度を点数化し，各競技経歴別に，比較した。重要と答えた理由については，質的データ分析を行った。

### 4) 分析項目

#### ①各競技経歴別に3つの大要素の重要度の比較

#### ②各競技経歴別に3つの大要素の各小要素の重要度の比較

#### ③対象者全員における3つの大要素の重要度

#### の比較

#### ④指導目的の3つのうち最も重要な要素と答えた理由について

## 3. 結果

### 1) 指導者の競技経歴と指導目的の関係

競技経歴別に3つの大要素の重要度を比較した結果，有意な差は見られなかった。3つの大要素の小要素においても重要度を比較した結果，有意な差は見られなかった。

### 2) 指導目的の重要な要素について

対象者全員における3つの大要素の重要度を比較した結果，有意差が見られ，多くの指導者が社会的要素と精神的要素を重要とし，子どもたちに指導していることが明らかになった（表1）。

### 3) 指導目的の3つのうち最も重要な要素と答えた理由について

多くの記述を整理した結果，多くの指導者が，子供の成長を考え，大人になったことや将来のことや今後のことも視野に入れて指導していることが明らかになった。

表1 全対象者における3つの大要素の重要度の比較

	平均値±標準偏差
身体的	3.46±0.84
精神的	4.25±0.65
社会的	4.29±0.71
分散分析	*
多重比較	身体的<精神的, 身体的<社会的

\*:有意差あり

## 4. 考察

各競技経歴別に見た場合，指導者は，3つの大要素（指導目的）をバランス良く指導していると考え，全キャリアでは，スポーツ選手としての成功よりも，子どもたちの将来のことを考えているため，精神的要素と社会的要素を重視して指導し，レクリエーションスポーツの目的である楽しむことと競技スポーツの勝つことを理解し，選手の成長を長期目的として，指導しているのでないかと考えられる。

## 主な文献

マートン・レイナー（2013）スポーツ・コーチング学指導理念からフィジカルトレーニングまで。西村書店：東京。pp.4-20.